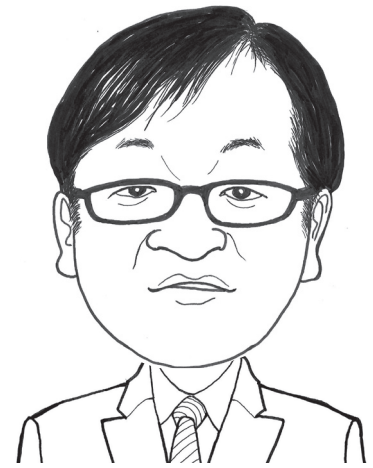


修学旅行費の予算超過について

教育長 来年以降は予算管理を十分行っていく



鈴木 孝寿 議員

教育長 修学旅行費は小学生3万円、中学生7万円を上限として助成要綱に基づき支出している。社会的要因により対象経費が上回る場合は協議の上、助成を認めることができる。昨今の物価高騰において今後も費用の増加が

問 全額公費負担の小中学校の修学旅行において、3月予算審査後に4月に実施された案件に際して予算超過が確認されている。予算審査後一ヶ月で予算超過は考えられない。原因と今後の対応について聞く。



教育長 追加徴収はこれまでなかった。今回一人当たり清水中学校が800円の超過、御影中学校が5900円の超過であった。来年以降は予算管理を十分行っていく。

問 親から修学旅行費用を徴収していた時にも、足りなくなったら追加徴収していたのか。公費からの支出というところで、あまりにも雑な予算執行を感じるのかがか。

見込まれるところだが、修学旅行の狙いが達成されるよう今後対応していく。

問 カラオケボックスのような形状をした会議ブースを庁舎1階に設置することだが、3月の定例会での予算審査では370万円を超える案件にも関わらず、一切の説明がなかった。リモート会議を主として使うようだが、庁舎内にある小会議室や空き室等を活用すればこのブースの設置は不要だと思うが、併せて聞く。

予算資料にない隠伏案件について

町長 今後はもれなく説明するよう務めていく

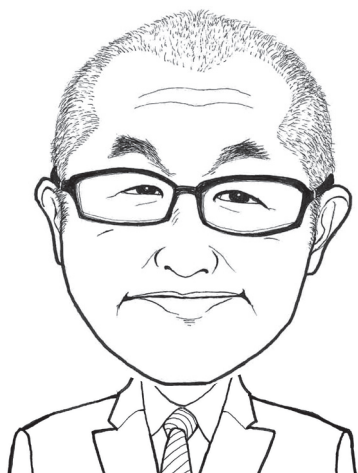
インターロッキングの今後の管理について

町長 当面は適切な管理を進めていく

町長 役場庁舎内にリモート会議できる場所が少なく、会議室も少ないとの声が多かったことより設置すべく、行政費で予算計上をしていたが、その内訳の説明がされていなかった。今後も含めて予算審査にも影響を与えてしまうことに対してお詫び申し上げる。今後は予算審査において説明が必要なものについては、漏れることなく説明するよう務めていく。

町長 近年の空き店舗増加により雑草が目立ち、縁石等の劣化、街路樹の老朽化等管理に苦慮しているところである。将来的な改修の検討を進めなければならないが、当面は適切な管理を進めていく。また、他町村の各団体の活動については参考にしながら今後検討していきたいと思う。

問 清水・御影ともに劣化し、管理が行き届いていないインターロッキングの歩道だが、設置当時、町民を巻き込んで検討し施工した。人口減少に伴いその管理状況は今後考えなければならないが、他町村ではまちづくり団体が積極的に美化活動をしているが、清水町は町内会任せが続いている。今後の考えを伺う。



橋本 晃明 議員

農業機械大型化に対応した道路等の整備について

町長 拡幅整備は難しいが、雑木や街路樹の整備等に対応していきたい



西十勝農業センター入口

問

近年、農家戸数が減少する一方で、

規模拡大による農業機械の大型化が著しく、物流においても大型トラック、トレーラーの利用が進んでおり、農道などの農業インフラの強化が求められる。

取付道路の拡大、路肩の強化、街路樹の管理、西十勝農業センターへの町道の改良等について、農業のまち清水町として、どのように取り組んでいくのか伺う。

町長

道路の幅員は道路構造

令により決定されており、拡幅整備は難しいが、道路脇の雑木や街路樹の剪定、伐採等によって対応したい。

西十勝農業センターの件は農協とも連携しながら支援したい。

問

米国において乳牛の鳥インフルエンザ感染事例が確認されている。

米国からの生体輸入は以前から停止中で、乳牛を介して持ち込まれることは少ないが、野鳥からの感染には改めて注意が必要である。
町としての認識を伺う。

乳牛への鳥インフルエンザ感染防止について

町長 可能な限り防疫対策に努めている

町長

町内の各養鶏場におい

ては、可能な限り防疫対策に努めている。

牛の臨床所見では症状は比較的軽いが、乳牛生産者に基本的な衛生管理を徹底してもらい、家畜保健衛生所などからの情報の周知を図っていきたい。

